

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

3 2014
Mar
Vol.671



表紙写真説明

アウ・シル・モウカル コラボる会2014
(下関市「DREAM SHIP」)

特集

平成26年度税制改正について (中小企業・小規模事業者関係税制)

- ーいま、これを伝えたい!ー 企業組合 みんと村
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」
白井興業株式会社
株式会社弘木技研
- 組合等ニュース
- 第66回中小企業全国大会のご案内
- 移動中央会を開催
- ものづくり・商業・サービス補助金のご案内
- 景況動向
- 「アウ・シル・モウカル コラボる会2014」を開催
- 次世代育成研修会のご案内
- S1さいきょうグランプリ2014

「いま、これを伝えたい！」

セールスプロモーションの向上で 市場浸透戦略を展開！

企業組合 **みんと村**



【設立の経緯】

10年近く活動していた玖珂ハーブ研究会を法人化し、一人でも多くの人に、ハーブの美味しき、ハーブの香り、ハーブの安らぎを感じていただきたいと思い、平成16年7月、企業組合みんと村を設立しました。

【これまでの取り組み】

私達は、少ない人数で、毎日、試行錯誤しながら頑張ってきました。ハーブの魅力を感じ、ハーブの癒しの

力を信じ、ハーブの効能を信じ、みんなに好かれるハーブの味を追求し、オリジナルブレンドのハーブティーを作りました。さらに、ピクルスセット、ハーブソルト、ハーブクッキー、ラベンダーケーキなど、少しでもたくさんの人に愛される商品を作ってきました。

そのような中、平成20年に岩国市のハーブが地域資源に認定され、平成22年には、山口県有機農産物認証



新しいパッケージの商品MAP



売り場づくりのための商品展示台

推進協会の「エコ100」の認定を、

また、平成23年には、「エコファーマー」の認定を受け、原材料であるハーブの栽培を、安全で安心な形で確立することができました。平成24年には、県内企業組合として初めて経営革新計画の承認を山口県より受け、最終商品だけでなく、「お好みに合わせて」というコンセプトの元、オーダーに合わせた二次加工品の提供も可能となりました。

【セールスプロモーションの向上】

しかし、いい商品だと思っても、それが売れるとは限りません。飲んで頂くと美味しいと言って飲んで頂けるのですが、飲むためには、手にとってもらわなくてはなりません。手に取ってもらったためには、商品を見つけてもらい、興味を持ってもらわなければなりません。課題はそこにありました。

そこで、この度、山口県中小企業団体中央会の「小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業」を活

用し、商品の魅力をパッケージから高め、デザインの統一化によるラインナップづくり、見つけてもらうための商品MAPと売り場を提案する仕掛けづくり、いわゆるセールスプロモーションに力を入れ、みんと村のハーブ商品のブランディングを進めた結果、たくさんの人に高い評価を得ることができました。

【河地理事長より】

企業組合みんと村法人化10周年の節目に際し、改めて、ハーブの素晴らしさを、楽しく、より多くの人に届けることができるよう頑張りたいと思います。新しいパッケージのみんと村のハーブ商品、是非、ご賞味ください！

企業組合 **みんと村**

【組合概要】

- 代表者：河地香代子
- 組合員数：5名
- 組合住所：岩国市政珂町5148-8
- ☎ 0827-82-5982 FAX 0827-82-5982

【組合の主な活動】

国産ハーブを使ったハーブグッズや特産品の加工・販売

平成26年度税制改正について (中小企業・小規模事業者関係税制)

平成25年12月 中小企業庁

1. 平成26年度与党税制改正大綱 (年末での決定事項)

廃止

復興特別法人税の1年前倒し廃止

(法人税)

拡充・延長

交際費課税の特例措置の見直し

(法人税・法人住民税・事業税)

○法人が支出した交際費等(※)は租税特別措置法により損金不算入とされている。

※交際費等の範囲から一人当たり5000円以下の飲食費等は除かれる。すなわち、一人当たり5000円以下の飲食費等は損金算入できる。

○他方で、中小法人については、大法人と比べて販売促進手段が限られており、交際費等は中小法人の事業活動に不可欠な経費であるとともに、飲食のための支出は、消費の拡大を通じた経済の活性化を図ることが可能である。

○そのため、中小法人について、

①定額控除限度額(800万円)

までの交際費の損金算入

②支出した飲食費の50%を損金算入

の選択適用を可能とする措置を2年間講ずる。(②については、大法人も利用可能)

地方法人課税における偏在性は正措置

(法人住民税、事業税、地方法人特別税・譲与税)

○消費税率8%の段階において、地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の縮小を図るため、法人住民税法人税割の一部を国税化して、新たに「地方法人税(仮称)」を創設し、その税込全額を地方交付税原資とする。

○また、平成20年度改正において、臨時の措置として導入されている「地方法人特別税・譲与税」については、1/3の規模を法人事業税に還元する。

検討事項

法人実効税率について(検討)

(法人税)

○大綱の「基本的考え方」において、

わが国経済の競争力の向上、法人実効税率を引き下げる環境作りの重要性、法人実効税率引下げと企業行動の関係などを踏まえつつ、検討を進める旨明記。

○今後、早期に国際水準まで引き下げることを目指し、検討を加速する。

検討事項

償却資産に係る固定資産税の見直しについて(検討)

(固定資産税)

○大綱の検討事項に初めて位置づけ。

○国際的に稀で、設備投資コストの上乗せとなる償却資産課税の見直しに向け、引き続き検討。

検討事項

小規模事業者に係る税制のあり方の検討

○持続的経営や成長志向の活動を行う個人事業主を含む小規模事業者が直面する事業承継や事業主報酬などの課題を踏まえ、その振興を図る観点から、個人事業主、同族会社、給与所得者の課税バランス等にも配慮しつつ、小規模事業者に係る税制のあり方を検討することが必要。

○今後、小規模企業振興のための「基本法」の制定を踏まえ、検討していく。

消費税の軽減税率 (消費税)

平成26年度税制改正大綱

平成26年度税制改正の基本的考え方

消費税の軽減税率制度については、「社会保障と税の一体改革」の

原点到立って必要な財源を確保しつつ、関係事業者を含む国民の理解を得た上で、税率10%時に導入する。

このため、今後、引き続き、与党税制協議会において、これまでの軽減税率をめぐる議論の経緯及び成果を十分に踏まえ、社会保障を含む財政上の課題とあわせ、対象品目の選定、区分経理等のための制度整備、具体的な安定財源の手当、国民の理解を得るためのプロセス等、軽減税率制度の導入に係る詳細な内容について検討し、平成26年12月までに結論を得て、与党税制改正大綱を決定する。

2. 投資減税

・秋の大綱(民間投資等活性化のための税制改正大綱での決定事項)

拡充・延長(秋の大綱)

中小企業投資促進税制の拡充・延長
(法人税・所得税・法人住民税・事業税)

○中小企業の生産性向上に向けた設備投資(ソフトウェア組込型装置を含む)を即時償却や税額控除で支援。

○税額控除を利用可能な法人を拡大
 (従来：資本金3,000万円まで
 ↓改正：1億円まで)

○資本金3,000万円までの法人
 に対して税額控除割合を上乗せ
 (従来：7%↓改正：10%)

新設(秋の大綱)
**生産性向上を促す設備等投資促進税
 制の創設**

(法人税・所得税・法人住民税・事
 業税)

○先端設備導入、生産ラインやオペ
 レーションの刷新・改善のための
 設備投資を、即時償却又は5%税
 額控除という、異次元の優遇措置
 で支援。

○製造業のみならず、物流・流通サー
 ビス業をはじめとする非製造業も
 活用可能。

○法律上の計画認定を要しない簡便
 な手続き。産業競争力強化法の施
 行日(平成26年1月20日)から前
 倒し適用。↓本税制等の措置を活
 用し、今後3年間で、設備投資を、
 リーマンショック前の年間70兆円
 に回復させる。

延長(秋の大綱)

**中小企業者等の少額減価償却資産の
 取得価額の損金算入の特例の延長**

(法人税・所得税・法人住民税・事
 業税)

○少額減価償却資産の取得価額の損
 金算入の特例(少額特例)は、取
 得価額30万円未満の全ての減価償
 却資産(建物、機械装置、器具備
 品、工具、ソフトウェア等)を対
 象に、全額即時損金算入を認める
 措置。年間約43万社もの中小企業
 が利用。

○中小企業におけるパソコン、経理
 事務ソフトウェアなど少額減価償
 却資産の投資の促進等を図るた
 め、平成25年度末とされていた適
 用期限を2年間延長。

(WindowsXPのサポート期限が
 切れることに伴う中小企業のパソ
 コン、ソフトウェア等の入替え
 ニーズにも対応)。

拡充(秋の大綱)
所得拡大促進税制の見直し・拡充

(法人税・所得税・法人住民税)
 ○給与等の支給額を増加させた場
 合、増加額の10%を税額控除する
 制度。(法人税額10%(中小企業
 等は20%)を限度)

○本税制を、企業にとってより使い
 やすいものとし、計画的・段階的
 な賃上げを支援する観点から、そ
 の要件を緩和するとともに、適用
 期限を2年間延長する(平成29年
 度末まで)。

3. その他の項目

新設

**(1)個人事業者に係る事業再生税制の
 創設(所得税、個人住民税)**

個人事業主が、合理的な再生計画
 に基づき債務免除を受ける場合にお
 いて、当該再生計画の手續に従って
 減価償却資産及び繰延資産等の評定
 を行っているときは、その資産の評
 価損の額に相当する金額は、必要経
 費に算入する等の特例を創設する。

拡充

**(1)小規模企業共済法の一部改正に伴
 う小規模企業共済制度の加入対象
 者の拡大(所得税、相続税、個人
 住民税)**

「小規模企業共済等掛金控除」等
 の対象となる小規模企業の範囲を、
 「宿泊業」及び「娯楽業」について、
 従業員5名以下から20名以下に拡大
 する。

**(2)小規模支援法の一部改正に伴う法
 人税非課税事業の対象となる小規
 模事業者の範囲の拡大(法人税、
 法人住民税、事業税)**

法人税法上の非収益事業である
 「商工会及び商工会議所による小規
 模事業者の支援に関する法律に基づ
 く基盤施設計画に沿って行われる基
 盤施設の貸付け等の事業」の対象と
 なる小規模事業者の範囲を、「宿泊

業」及び「娯楽業」について、従業
 員5名以下から20名以下に拡大す
 る。

延長

**(1)中小企業等協同組合法の一部改正
 に伴う所要の措置(異常危険準備
 金制度等への火災等共済組合の対
 象化)(所得税、法人税、個人住
 民税、法人住民税、事業税)**

中小企業等協同組合法の改正に伴
 い創設された火災等共済組合につい
 て、引き続き異常危険準備金制度等
 の税制措置の適用対象とするなど所
 要の措置を講ずる。

**(2)独立行政法人中小企業基盤整備機
 構の仮施設整備事業に係る特例
 措置の延長(登録免許税、印紙税、
 不動産取得税、固定資産税、都市
 計画税)**

東日本大震災で被害を受けた地域
 における被災事業者の早期の事業再
 開を促進するため、独立行政法人中
 小企業基盤整備機構が行う仮施設設
 整備事業に係る登録免許税等の非課
 税措置について、適用期限を2年延
 長する。

シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」その5

『短納期製造・補修サービスの構築事業のための
「NCロータリーテーブル付きマシニングセンタ」導入』

白井興業株式会社

- (技術分野) 切削加工
- (類型) 設備投資のみ
- (形態) 小口化・短納期化
- (会社概要)

当社は、「お客様のニーズにお応えすることこそ我々の使命」という強い思いを持って、主に鉄鋼メーカー向けの生産設備用資材及び生産設備用部品の製造・補修をおこなっております。我々が長年培ってきた経験と、最新の加工設備・加工技術を活かして、鉄の生産活動を、全員全力で支えることを目的としております。

(事業概要) 山口県を中心的な産業である、鉄鋼などの基礎素材型産業は、世界をマーケットとしたグローバル競争が激化しています。こうした産業において、国内で生産に要求される、高品質・多品種少量・短納期の課題に対応するため、最新の「NCロータリーテーブル付きマシニングセンタ」を導入し、製造プラントから生産用資材及び生産用設備部品製作・改善、補修依頼に対して、超短納期でサービスを提供出来る革新的システムの構築を目指しています。

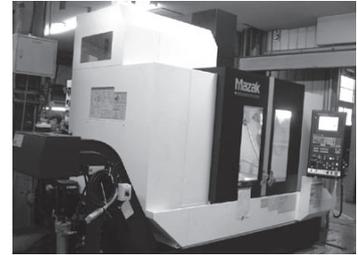
白井興業株式会社

〒743-0063
山口県光市島田2丁目27-1
TEL: 0833-71-0044 FAX: 0833-71-2604
URL: <http://www.shirai-kk.co.jp/>
(メカトコ周南協同組合)

今回のものづくり補助金を活用して、最新の加工設備を導入することができました。
今後は、弊社の既存事業のさらなる拡大・高効率化を図るとともに、各種製造プラントからの、超短納期・高品質加工のご要望に威力を発揮するものと期待しております。



代表取締役
白井 博之氏



マシニングセンタ

シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」その6

『小口化・短納期化する鉄道車両内装部品に
対応する生産管理システム等の構築』

株式会社弘木技研

- (技術分野) 溶接
- (類型) 設備投資のみ
- (形態) 小口化・短納期化
- (会社概要)

当社は、新幹線を始めとする鉄道車両の内装部品メーカーで、出入台、配電盤ユニット、仕切り(妻)パネルなどを製作しています。設計から材料の切断、曲げ、加工、溶接、組立・組立てまで一貫製造を行い、日立製作所、川崎重工業、近畿車両、日本車輛製造、総合車両製造所へ納入しています。

(事業概要) 利用顧客サービス向上のためにデザインが複雑化し、多品種化する鉄道車両製造において、車両メーカーから求められる小口化・短納期化したジャストインタイム納入に対応するために、独自の生産管理システムを構築し、部品メーカーとして業界高シェアを堅持することを目指しています。

株式会社弘木技研

〒744-0061
山口県下松市葉山2丁目904番15
TEL: 0833-46-3535 FAX: 0833-46-3838
URL: <http://www.hiromoku-giken.co.jp/>
(日立笠戸協同組合)

今回の「ものづくり補助金」の活用により、時流にあった生産管理システムの構築を計画しております。
当社は、平成21年度に「鉄道車両装飾部品における押型材の成形プレス品の試作開発」というテーマに続き2回目の補助金活用になります。今回の取組みの成果により、車両メーカーの要求する高品質、短納期に対応できるものと期待しています。



代表取締役
弘中 善昭氏



生産管理システム

ガラスフィルムを寄贈!!

山口県室内装飾事業協同組合

2月2日(月)、山口県室内装飾事業協同組合(吉野訓章理事長)は、組合員の技術の向上を目的とした「ガラスフィルム施工技術研修会」を山口市秋穂二島の障害者支援施設「山口秋穂園」で開催し、同園の会議室の12枚のガラスフィルムの施工を行いました。

施工後、同組合の横田晃一専務理事より、「夏は涼しく、冬は暖かく安全に過ごしていただきたい。」と施工したガラスフィルムの寄贈のパネルが恒松施設長に手渡されました。恒松施設長は、「施設利用者が使用する会議室なので、より長く使わせていただきたい。」と感謝の言葉を述べられました。



自然と寄り添うお茶づくり

とくぢ健康茶企業組合



2月15日(土)、山口市内のホテルで、「健康茶セミナー」が開催されました。

最初に、山口ケーブルテレビで放送された、とくぢ健康茶企業組合の取組みについて映像により紹介が行われ、つづいて広島国際大学 薬学部教授の神田博史氏による日常生活への薬用植物の取り入れ方についての紹介、東京吉祥寺で日本茶店を営むフランス人の日本茶専門家ステファングントン氏によるオリジナルフレーバーティー作りの実演を交えての講演が行われました。

参加者は、同組合の「カワラケツメイ」を使った健康茶を飲みながら講演に聞き入りました。

地域商店街コミュニティマップを作成

山口県商店街振興組合連合会

山口県商店街振興組合連合会(坂本惠次理事長)では、地域住民の方々に地元商店街により親しんでいただくため、商業・商店街振興助成金事業を活用して、県内各商店街と連携した「地域商店街コミュニティマップ」を作成しました。

マップには、県内の主要な22商店街の年間イベントが掲載されており、一目で開催時期がわかるようになっていきます。



地域商店街コミュニティマップ

速報 第66回中小企業全国大会のご案内

開催日時 平成26年10月23日(木) 午後1時30分から
 開催場所 日比谷公会堂(東京都千代田区日比谷公園1-3)
 参加者 約2,000名

お申込・お問い合わせ先 山口県中小企業団体中央会 総務課 ☎083-922-2606

たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

「ものづくり」、「コンプライアンス」を

テーマに移動中央会を開催

本会では、一昨年度より継続して開催している移動中央会を2月中旬から下旬にかけて県下4会場（周南、萩、下関、宇部）で開催しました。

ものづくりをテーマにした周南、下関、宇部会場においては、それぞれ(株)弘木技研（日立笠戸協同組合組合員）及び宇部鉄工業協同組合（山田義裕理事長）からものづくり補助金の活用事例を発表していただき、山口県産業技術センターから施策活用事例を紹介していただきました。コンプライアンスをテーマにした萩会場では、山口県県民生活課による「景品表示法の概要と不当表示事例」及び中国四国農政局山口地域センターによる「食品表示のルールと動向」について講話を聞きました。



周南会場



萩会場



下関会場



宇部会場

さらに周南、萩、下関会場では、4月からの消費税の引き上げに伴い、「富田税理士事務所富田所長による「改正消費税転嫁対策」、「設備投資減税」について講話を聞きました。

各会場共通した内容として、「ものづくり・商業・サービス補助金」をはじめとする中央会事業や各支援機関の支援施策についての説明、情報提供を行いました。

出席者による意見交換では、組合関係者やものづくり企業から現在の取組状況、課題等についての報告、中央会や各支援機関への質疑・要望等が活発に行われました。中央会としては、今回頂いた意見・要望を、組合やものづくり企業の支援等に活かしていきます。

平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」（ものづくり・商業・サービス補助金）のご案内

好循環実現のための国の経済対策（平成25年度補正予算）の重点事業の一つとして、当該補助金の1次公募が2月17日より開始されました。県内事業者の方々には、積極的にご応募いただきますようご案内申し上げます。

1 補助金の概要

試作品・新商品の開発や生産プロセスの改善、新しいサービスや販売方法の導入など、中小企業・小規模事業者が事業革新に取り組む設備投資等の費用の2/3を補助します。

2 対象分野

ものづくり（基盤技術11分野※に柔軟に再整備）に加え、商業・サービス分野を追加。

※ 商業・サービス分野については、経営革新計画と同等の計画づくりが必要です。

3 補助上限額

1,000万円（特定分野※への投資は1,500万円）

※ 特定分野：「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「航空・宇宙」

※ 小規模事業者のみの特別枠（設備投資は伴わず）を設定します。（補助上限額：700万円）

4 補助金申請の公募期間

公募開始：平成26年2月17日(月)

一次締切：平成26年3月14日(金) ※当日消印有効 二次締切：平成26年5月14日(水) ※当日消印有効

※ 基盤技術11分野は以下のとおり。

- (1)情報処理、(2)精密加工、(3)製造環境、(4)接合・実装(5)立体造形、(6)表面処理、(7)機械制御、(8)複合・新機能材料、(9)材料製造プロセス、(10)バイオ、(11)測定計測

申請・お問い合わせ先 山口県中央会（担当：吉田、浦川） ☎083-922-2606

月次景況調査結果

平成26年1月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合
 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

	業 種	1月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	→
	織 維 工 業	☁	→
	木 材 ・ 木 製 品	☁	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☁	→
	一 般 機 器	☀	↗
	輸 送 機 器	☂	→
非 製 造 業	卸 売 業	☁	↘
	小 売 業	☁	→
	商 店 街	☂	↘
	サ ー ビ ス 業	☁	↗
	建 設 業	☀	→
	運 輸 業	☁	↗

県内の「業界の景況(前年同月との比較)」は、良いと感じている人が、12月期より増加しており、全体的に改善傾向にある。受注量大幅増加の業種もあるが、同一業種でも地域によって差が出ている。

1月期の景況の回復感は、食料品製造業、一般機器や輸送機器の業種の中には、「業績が良かった」や「引き続き好調を維持」とあり、景況が上向きの報告が増えている。一方で、繊維業、小売業で苦戦が続いているとの報告である。

石工品製造業と左官業から、依然として職人不足等により「受注工事が遅れている」とあり、人材確保が喫緊の課題となっている。

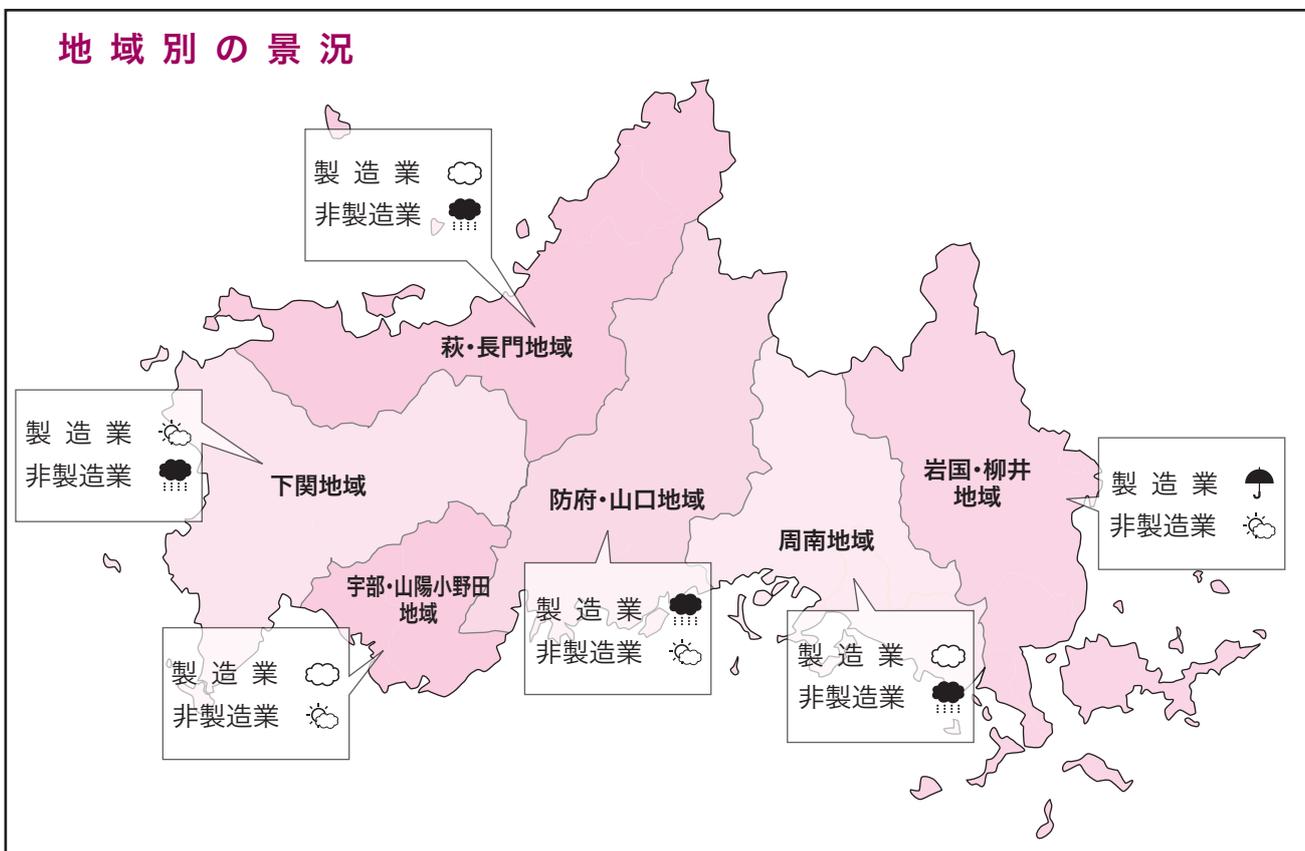
木材・木製品や石工品製造業、卸売業、自動車整備業より「消費税増税前の駆け込み需要が発生している」とある一方で、「駆け込み需要は感じられない」、「消費税増税後の反動を懸念している」との報告も多い。

景況回復状況は引き続きまだら模様であり、今後も、状況を注視していく必要がある。

DI値

- 30以上 ☀ -30以上-10未満 ☁
- 10以上30未満 ☁ -50以上-30未満 ☂
- 10以上10未満 ☁ -50未満 ☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成26年1月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正月は好天に恵まれ、休暇も長く、駅・空港・専門店ともに好調であった。(パン・菓子製造業) ○ 1月売上はプラス3.7%と前年同月を超えた。全般に寒さの厳しい日が多く、後半、伸び悩んだが、お正月を含む前半の業績が良かった。(水産食料品製造業)
	繊維工業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費が伸びないの一言につきる状況で、受注量も厳しい状況。資材関係の値上がりもコストを圧迫し利益を下げている。(下着類製造業) ○ チャイナリスクにより他国へのシフトが進み、海外の状況の問い合わせや、引き合いは増加したが、受注には結びついていない。(外衣・シャツ製造業 山口市) ○ 現在順調に仕事が入っているが、消費税増税後が心配。(// 下関市)
	木材・木製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木材価格の上昇が続いている。新設住宅着工戸数も右肩上がりでも推移している。消費税増税後の反動を懸念している。(山口市) ○ 消費税増税前の駆け込み需要等、若干引き合いも増えているが、景気回復にはまだ時間がかかりそう。(下関市)
	印刷	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大手増収の様様であるが、地方、中小企業は円安によるコストアップ及び消費税増税により、これまで以上に苦境に立たされると予想される。(印刷)
	窯業・土石製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国産の取扱量が多い事業者は、受注量が減り、国産の取扱量が多い事業者は、消費税増税前の駆け込み需要もあって、忙しくしている。人手不足が続いており、受注工事の遅れも顕著となっている。(石工品製造業)
	一般機器	☀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄骨構造物関連は、大型小売店舗向けの設備投資で引き続き好調。自動車関連は1月に入ってから受注が増加傾向。設備工事は、大手企業の設備投資が一段落したため、前年同月比では受注減となっている。(一般機械器具製造業) ○ 海外向けリピート金型は、昨年に引き続き予定が入っている。国内向けは特殊樹脂金型が多い様子。金型は価格競争が激しく、とても厳しい。(特殊産業用機械製造業)
非 製 造 業	輸送機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送機部門は低調で推移。精密加工部門は、一部ではあるが、生産量は大きく伸びており、春先までは好調を維持できる見込み。(鉄道車両・同部品製造業)
	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ マツダ関連プラスチック製品や、制服関係で、消費税の駆け込みに関わる発注が増加してきた模様。(防府市) ○ 天然魚が豊漁で、養殖魚も値下がり、販売量が増加。(生鮮・魚介卸売業)
	小売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食料品店は大型店との競争で引き続き大苦戦。家電店は水回りのリフォームも手掛け、景況感は上向き。衣料品は防寒衣料の売れ行きが良好。(岩国市)
	商店街	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月は客数も駐車場利用者も少なく、全体的に人通りも減少気味。(山口市)
	サービス業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 12月のディーラーの新車販売は普通車等で約2割、軽自動車では約3割の対前年比増で、消費税増税前の駆け込み需要が発生していると考えられる。一方で車検台数は減少しており、車検獲得の価格競争激化が心配。(自動車整備業) ○ 反日で減少していた、中国本土(山東省)・香港・台湾からの観光客が戻りつつあり、団体行動が多いが、個人客も増えている。(旅館業) ○ 上昇機運にあるが、地区毎の景況には大きな差がある。また、業績が上向きな地区でも不安定要因を抱えており、今後の予測はつかない。(飲食業)
	建設業	☀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職人不足が一段と深刻化し、元請の基本工程が遅れ、すべての職種に影響が出てきつつある。(左官業) ○ 本年度公共事業の発注は一段落。元請側の理由で、受注後の着工が遅れている工事が多くなった。一戸建住宅の発注は引き続き増加傾向。(土木工事業)
運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送稼働は前年比で十数パーセント程度伸び、来期も若干の伸びが予想される。燃料価格が上昇基調で、乗務員の高齢化と乗務員不足が問題化しており、労働条件の向上が求められている。(一般貨物自動車運送業) ○ タクシー会社の燃料購入単価は前月比+13%上昇、前年同月比で+18%と大幅に上昇し、価格転嫁の難しい業界を苦しめている。(一般旅客自動車運送業) 	

「ビジネスへつなげる対話」を体感! 「アウ・シル・モウカル コラボる会2014」を開催



中央会では、平成21年度から、会員組合・企業のビジネスマッチングを目的として、毎年度「アウ・シル・モウカル コラボる会」を開催しています。

今年度は、2月10日(月)に下関市「DREAM SHIP」にて28名の参加

者を得て開催しました。

ミニ講座としてmama's kitchen project (下関市)のメンバーの皆さんより「コラボ成功の秘訣教えます!」として面識ゼロから“ピーマンしょうゆ”をコラボにより開発した時の秘話、ヴィゴラスマインド 金光代表より「自分表現力アップ講座!」として自己変革により自分の想いを伝えるポイントについて話があり、続いてファシリテーターである発創デザイン研究室 富永良史氏の進行のもと、できるだけ多くのメンバーと個々の性格など様々な形につながり、相手をより深く知り、出会った数、対話を深めた分だけビジネスチャンスを広げることを目的とした参加型ワークショップを行いました。

ビジネスに繋がりそうなコラボ事例も何件か生まれ、とても有意義な交流会となりました。



次世代育成研修会のご案内

ビジネスリーダーに求められる力

～サンフレッチェ広島 ぶれない経営方針で成し遂げたJ1制覇への道!～

日時 平成26年 3月19日(水)

- ・ 15:00 開会
- ・ 15:15～15:30
青年部活動事例発表
「業界の次代を担う人材の育成について」
(山口県環境整備事業協同組合青年部)
- ・ 15:30～15:45
がんばる地域の企業経営動事例
「大陸棚の漁村(さと)からの贈り物」
(萩大島船団丸 代表 坪内知佳)
- ・ 16:00～18:00 本谷講師講演・ディスカッション
- ・ 18:15～20:00 ビジネス交流懇親会(講師も参加)

場所 「ホテルサンルート徳山」

周南市築港町8-33(徳山駅新幹線口徒歩2分)

受講料 無料 ※ビジネス交流懇親会に参加の方は5,500円/1人

定員 50名

対象 経営者、後継者、管理職など 50名

講師プロフィール

もと たに ゆう いち
本谷 祐一

株式会社サンフレッチェ広島 前社長

- 1978年 ダイイチ(現エディオン)入社
- 1998年 サンフレッチェ広島企画部長
- 2001年 デオデオ社長室長、デオデオ取締役、エディオン経営企画部長
- 2006年9月 草津温泉フットボールクラブ取締役専務
- 2007年2月 武尾誠氏のザスパ草津社長就任に伴い、非常勤取締役専務
- 2007年4月 エディオン関東店舗開発部長
- 2007年10月 東京エディオン取締役
- 2007年12月 サンフレッチェ広島代表取締役社長
- 2012年12月 サンフレッチェ広島代表取締役退任



お問い合わせ先

山口県中小企業団体中央会

連携支援第一課：小倉 ☎083-922-2606

出でよ！変革の志士たち！！

さいきょう S1グランプリ 2014

地域社会課題解決 ソーシャルビジネス アイデアプランオーディション



地域社会課題の解決に挑む団体・個人の皆さまへ
西京銀行と一緒にその課題解決を行いませんか！

西京銀行は地域社会の課題解決や経営革新に挑む方のアイデアや
ビジネスプランの実現、支援企業とのマッチングを全力でご支援します！！

募集概要

地域社会課題解決に向けたアイデア、ビジネスプランを所定の応募フォームに記載のうえ、平成26年5月12日(月)必着でS1グランプリ事務局宛送付のこと

グランプリ スケジュール

1次審査 書類選考 平成26年5月28日(水) ▶ 2次審査 事業計画審査 平成26年8月 ▶ 最終審査 プレゼンテーション 平成26年9月

西京銀行&専門家による“無料”ハンズオン支援実施!

募集部門

- ソーシャルビジネス部門……地域社会課題の解決をビジネス(収益)で行う!
- イノベーション部門……革新的な商品・サービスで新事業展開を図る!

S1グランプリ 事務局

〒745-0015 山口県周南市平和通1丁目10番の2
さいきょうS1グランプリ2014実行委員会(西京銀行地域連携部内)
TEL:0834-22-7665 FAX:0834-27-1733 E-mail:renkei@saikyobank.co.jp

今月の

さわやかレター

2014
Mar



山口県石油商業組合・山口県石油協同組合
大畠 博美さん(左) 河口 明美さん(右)

現在、事務全般を担当されている大畠さんと、経理を担当されている河口さん、お二人とも組合職員になられて20年以上のベテランとのことで、常に組合員さんの目線に立った仕事を心掛けられているそうです。

趣味を伺うと、「健康維持のためにウォーキングと山登りを続けています。」とお二人声をそろえて応えられました。

お二人のモットーは、大畠さんが「常に初心を忘れない」ことで、河口さんは「何事にも“ありがとう”の感謝の気持ちをもつ」ことだそうです。

組合のPRをお願いしたところ、「サービスステーションは、エネルギーの供給やカーケアの拠点として、地域に根付いたスタンドを目指しています。給油されたついでにお車の気になること等についてご相談されてみて下さい。きっと良いアドバイスをして頂けると思います。」と笑顔で応えていただきました。

表紙写真

アウ・シル・モウカル コラボる会2014
(下関市「DREAM SHIP」)

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社 桜プリント社